

議 事 日 程 第 5 号

平成31年3月11日（月）午前10時開議

（予算特別委員長報告）

日程第1 議第12号 平成30年度米沢市一般会計補正予算（第6号）

日程第2 議第13号 平成30年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）

日程第3 議第14号 平成30年度米沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第2号）

日程第4 議第15号 平成30年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）

日程第5 議第16号 平成30年度米沢市立病院事業会計補正予算（第4号）

日程第6 議第29号 平成30年度米沢市一般会計補正予算（第7号）

本日の会議に付した事件

議事日程第5号と同じ

出欠議員氏名

出席議員（23名）

1番	山村	明	議員	2番	工藤	正雄	議員
3番	堤	郁雄	議員	4番	佐藤	忠次	議員
5番	佐藤	弘司	議員	6番	山田	富佐子	議員
7番	高橋	壽	議員	8番	高橋	英夫	議員
9番	齋藤	千恵子	議員	10番	鈴木	藤英	議員
11番	皆川	真紀子	議員	12番	成澤	和音	議員
13番	鳥海	隆太	議員	15番	中村	圭介	議員
16番	海老名	悟	議員	17番	島軒	純一	議員
18番	小久保	広信	議員	19番	太田	克典	議員
20番	我妻	徳雄	議員	21番	木村	芳浩	議員
22番	相田	克平	議員	23番	島貫	宏幸	議員

欠席議員（なし）

出席要求による出席者職氏名

市 長	中 川 勝	副 市 長	井 戸 將 悟
総 務 部 長	後 藤 利 明	企画調整部長	我 妻 秀 彰
市民環境部長	堤 啓 一	健康福祉部長	小 関 浩
産 業 部 長	菅 野 紀 生	地方創生参事	武 発 一 郎
建 設 部 長	杉 浦 隆 治	会 計 管 理 者	猪 俣 郁 子
上下水道部長	宍 戸 義 宣	病院事業管理者	渡 邊 孝 男
市 立 病 院 事 務 局 長	渡 辺 勅 孝	総 務 課 長	安 部 道 夫
財 政 課 長	遠 藤 直 樹	総合政策課長	安 部 晃 市
教 育 長	大河原 真 樹	教育管理部長	渡 部 洋 己
教育指導部長	佐 藤 哲	選挙管理委員会 委 員 長	小 林 栄
選挙管理委員会 事 務 局 長	村 岡 学	代表監査委員	森 谷 和 博
監 査 委 員 事 務 局 長	宇津江 俊 夫	農業委員会会長	伊 藤 精 司
農 業 委 員 会 事 務 局 長	宍 戸 徹 朗		

出席した事務局職員職氏名

事 務 局 長	高 野 正 雄	事 務 局 次 長	三 原 幸 夫
庶 務 係 長	金 子 いく子	議事調査係長	渡 部 真 也
主 査	堤 治	主 事	齋 藤 拓 也

午前 9時59分 開 議

○島軒純一議長 おはようございます。

ただいまの出席議員23名であります。

直ちに本日の会議を開きます。

本日は、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災から8年目を迎えます。ここで、東日本大震災で被災されました方々に対しお見舞いを申し上げますとともに、犠牲となられた方々に追悼の意を表し、心から御冥福をお祈りするため、1分間の黙禱をささげたいと存じます。

一同、御起立願います。

〔起 立〕

○島軒純一議長 黙禱、始め。

〔黙 禱〕

○島軒純一議長 黙禱を終わります。

御着席願います。

〔着 席〕

○島軒純一議長 次に進みます。

本日の会議は議事日程第5号により進めます。

.....

日程第1 議第12号平成30年度米沢市 一般会計補正予算（第6号）外 4件

○島軒純一議長 日程第1、議第12号平成30年度米沢市一般会計補正予算（第6号）から日程第5、議第16号平成30年度米沢市立病院事業会計補正予算（第4号）までの議案5件は、議事の都合により一括議題といたします。

この場合、予算特別委員会における審査の経過と結果について報告願います。

予算特別委員長 9番齋藤千恵子議員。

〔予算特別委員長 9番齋藤千恵子議員登壇〕

○9番（齋藤千恵子議員） 御報告申し上げます。

去る2月28日の本会議で当予算特別委員会に付

託されました案件は、議第12号平成30年度米沢市一般会計補正予算（第6号）から議第16号平成30年度米沢市立病院事業会計補正予算（第4号）までの補正予算5件及び議第17号平成31年度米沢市一般会計予算から議第28号平成31年度米沢市立病院事業会計予算までの新年度予算12件、合わせて17件であります。

本日は、去る4日の委員会において審査いたしました、議第12号平成30年度米沢市一般会計補正予算（第6号）から議第16号平成30年度米沢市立病院事業会計補正予算（第4号）までの補正予算5件について、議会日程に従い、委員会室において、全委員出席のもと、当局から市長を初め教育長、病院事業管理者、関係部課長等にも出席を求め、審査を行いましたので、その審査経過の概要と結果を御報告申し上げます。

なお、議案の内容につきましては、市長の説明要旨や事項別明細書等で各議員御承知のことと存じますので、その説明を省略させていただき、以下、審査経過の中でありました質疑・要望等と、その結果を取りまとめて御報告申し上げます。

初めに、議第12号平成30年度米沢市一般会計補正予算（第6号）の歳出であります。まず、第2款総務費では、ふるさと応援寄附金について、今回の補正予算で事業費が2億円増額補正されており、最終的な寄附金の額は5億2,000万円ぐらいになると見込んでいたとのことだが、本市へのふるさと応援寄附金は、平成28年度の35億円がピークで、昨年度がその半分程度、本年度が5億円と、減少の傾向がとまらない。ノートパソコンが返礼品からなくなったことが大きいと思うが、それにかわる新たな返礼品の開発やほかの自治体で反響が大きい返礼品は何なのかなどの検証を行い、いろいろな寄附の窓口、ポータルサイトを設けることによって、全国から「米沢に寄附をしたい」という人へのきっかけをつくるのが大切である。返礼品の種類をふやしていくのは大事だと思うが、以前から地場産品を使ってふるさと

応援寄附金を多く集めている自治体もあるので、そういったところを研究して、少しでも低落傾向を食いとめていただきたいがどうかとして質疑がありました。

また、今回の補正に計上された民間バス路線運行支援について、現状では、民間バス事業者は、距離単価で路線バスの運行費用が保障される形となっており、運賃収入と運行費用の差額を税金で補填している状況にある。運行支援の額が年々ふえており、住民にとって不便になっているにもかかわらず、支出がふえていることは問題だと思う。山形県内において、民間バス事業者と各自治体、県がきちとした協力体制の中で、県民の足としてどうやって機能するものにしていくのか、互いに向き合って、根本的なところから話をしていく必要があると考えるがどうかとして質疑がありました。

第3款民生費では、寿山荘の廃止に伴い、昨年4月から民間の施設が代替施設となり、老人クラブの利用が余りないことから、PRをしていきたいとのことであるが、幾らPRをしても利用数は上がらないと思う。使い勝手が悪いことが問題であり、なぜ利用がないのかその理由を検証して、予算に反映できる方法を考えていただきたいと思うがどうかとして質疑がありました。

また、寿山荘の代替施設の利用状況がよくないのは、施設の構造の問題もあるが、受け入れ日数、曜日の設定が寿山荘のときよりも減ったことによるものとも聞いている。そのような点を改善していくことが必要であり、対応が今の事業者で難しいのであれば、新たな委託先も考える必要があると思うがどうか。さらに、寿山荘の跡地利用はどのように考えているのかとして質疑がありました。

第7款商工費では、企業誘致の手法について、今はどのように誘致活動をしているのか。山形大学工学部を卒業した学生が米沢に残るためにも、研究開発の事業所・研究所の誘致が大事だという

代表質問も今般あった。担当者などが得た情報をもとに、市長みずからが本市への立地の優位性や支援策をもって企業訪問するのは大事だと思うが、トップセールスのあり方や効果をどのように考えているのかとして質疑がありました。

第8款土木費では、道路除雪に対する苦情の内容を聞く限り、道路の雪を全て持っていくことが除雪であると認識している方が多い状況である。道路の除雪とは路面の雪を道路の脇に寄せていくことというルールをもう一度市民に周知する必要があるのではないか。除雪時に家の前の雪は全部持っていけという話をよく聞くので、機会を捉えて除雪内容の周知を要望したいとして質疑、要望がありました。

第10款教育費では、教職員の時間外勤務が多い状況を改善するためには、教職員と話し合いをしながら合意・納得を得ることは必要であると考えるが、教育委員会は各小中学校の教職員と業務改善のための話し合いは行っているのか。地域全体で業務改善を進めていくために、学校を支える地域のさまざまな関係者の方々に実情と今後の対応などを説明し、協力を仰ぐようにしていったらいいとして質疑、要望がありました。

また、上杉治憲敬師郊迎跡保存修理事業について、今回補正により減額となっているのは、どの施設の分なのか。また、この事業はいつごろ終わる予定であるのか。改修費の所有者負担分を市で支援する考えはあるかとして質疑がありました。

歳入では、固定資産税の住宅用地の特例について、特定空き家に認定することにより、税の軽減措置が受けられなくなることとされたが、建物が朽ちて屋根が落ちていたり、容易に住居へ侵入できるような物件についても特定空き家に認定していないということは、法に照らし合わせて本市には該当する特定空き家は存在しないという認識でよいのか。もしくは、認定に当たって本市の基準の整理がうまくいっていないものなのかと

して質疑がありました。

また、法にのっとって特定空き家の判断をすることが大事であり、基準をしっかりと整備しないと、法は変わったが運用していないことになる。固定資産税収は、人口が減っていく中でも維持していける財源として、本市の財政にとっても重要なものである。まちの中にそういった危険家屋があるだけで評価額が下がり、固定資産税収の減につながっていくことを防ぐために国は法改正を行ったので、市もしっかりとした運用をするよう要望するとして質疑、要望がありました。

以上が、議第12号平成30年度米沢市一般会計補正予算（第6号）に対する審査の経過の中でありました質疑、要望の主なものでありますが、議第12号につきましては、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

次に、議第13号平成30年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）では、出産育児一時金が減額補正されているが、予算上の対象者は何人を見込んでいたのか。また、当初予算での出生見込み数の設定基準及び本市の人口ビジョンのゼロ歳児の人数との関連性はどうかとして質疑がありましたが、議第13号につきましては、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

次に、議第14号平成30年度米沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第2号）から議第16号平成30年度米沢市立病院事業会計補正予算（第4号）までの補正予算3件につきましては、質疑もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

以上が、当予算特別委員会に付託されました平成30年度補正予算5件の審査経過の概要とその結果であります。

以上をもちまして、委員長報告といたします。

○島軒純一議長 ただいまの予算特別委員長報告に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

議第12号から議第16号までの議案5件を委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 御異議なしと認めます。よって、議第12号から議第16号までの議案5件は、委員長報告のとおり決まりました。

.....

日程第6 議第29号平成30年度米沢市 一般会計補正予算（第7号）

○島軒純一議長 次に、日程第6、議第29号平成30年度米沢市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

この場合、市長から提案理由の説明を願います。
中川市長。

〔中川 勝市長登壇〕

○中川 勝市長 おはようございます。

ただいま上程になりました議第29号について説明いたします。

議第29号平成30年度米沢市一般会計補正予算（第7号）は、国の補正予算を活用し実施する事業や除排雪等に要する経費として、緊急に補正を必要とする事業費4億2,356万9,000円を増額補正しようとするものであり、この結果、補正前と合わせた一般会計の予算総額は384億5,545万1,000円となります。

これらに伴う財源といたしましては、特定財源として、国庫支出金と地方債を増額補正しようとするものであり、一般財源として、財政調整基金繰入金を増額補正しようとするものであります。

あわせて、繰越明許費については、2件の追加とともに、1件の変更をしようとするものであり

ます。

以上、提案いたしました議案につきまして、よろしく御審議の上、御賛同賜りますようお願い申し上げます、提案理由の説明といたします。

○島軒純一議長 ただいまの市長説明に対し、総括質疑を許可します。

御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 総括質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案１件は、会議規則第37条第１項の規定により、配付しております議案付託表（追加）のとおり、所管の委員会に付託いたします。

所管の委員会は、会議日程により慎重審査の上、来る３月22日の本会議にその結果を報告願います。

.....

散 会

○島軒純一議長 以上をもちまして本日の日程は終了いたしました。

これにて散会いたします。

御苦勞さまでした。

午前１０時１７分 散 会